

平成24年
12月
定例会

11月27日～
12月17日

「自転車の似合うまち」を目指して

自転車安全利用条例を可決



▲自転車運転免許取得講習会（笹目東小学校）

主な議案の概要

12月定例会は、11月27日から12月17日までの21日間の会期で開かれました。本定例会には31件の議案等が提案され、いずれも可決・同意・承認しました。
また、4日間にわたる一般質問では、18人の議員が活発な論戦を展開しました。委員会提出では、初日に2件、最終日に3件の議案が提案され、いずれも全員一致で可決しました。「所得税法第56条の廃止を求める請願」については、全員一致により一部採択いたしました。

【条例（委員会提出）】

◎戸田市みんなで守ろう自転車安全利用条例

議員提出あるいは委員会提出の政策的条例としては、「戸田市みんなで守ろう犯罪のないまち条例」「戸田市中小企業振興条例」に次いで3番目の条例です。

この条例は、自転車を利用する市民が増えている一方、近年、自転車事故の増加が顕著であることから、平た

んな地形で、自転車走行に適したまちである本市が、日本一安全に楽しく自転車を利用できる「自転車の似合うまち」の実現を目指すために市民生活常任委員会から提案され、全員一致で可決したものであります。

ことから、具体的な施策までは規定せず、市民、自転車利用者等の責務や基本的事項のみを規定したもので、本年1月1日から施行されています。↓年間活動成果P9参照



【条例（市長提出）】

◎戸田市が管理する市道の構造の技術的基準等を定める条例

道路法の一部改正に伴い、市道の構造の技術的基準や道路標識の寸法、文字の大きさに係る基準が条例委任されたことから新たに条例を制定するものです。

を車道の左側に設ける）、第10条（自動車

の交通量が多い道路には「自転車歩行者道」を道路の各側に設ける）において、近々指定できそうな路線をイメージしているのか。

質 疑

◎今議会に成立した自転車安全利用条例に対応する議案である。地方分権に伴う条例化ではあっても、6点の市独自基準を設けた条例である。現状、第9条（自転車の通行により車両及び歩行者の安全、円滑な通行が妨げられないようにするため必要がある場合は「自転車通行帯」

等の一部改正

今回の組織改正は、①総務常任委員会の提案により、危機管理体制を強化するため、市長直轄の組織として部長職の危機管理監を設置する②地方公共団体を取り巻く経済環境が厳しさを増す中で、公共施設の延命化と適正管理、建てかえ等を総括する組織を財務部に新設する③現行の市民生活部から環境経済部を新たに独立設置し、環境に配慮したまちづくりの推進を進展させるためのものです。

質 疑

◎危機管理監は、どのような人材を想定しているのか。

◎職員からの登用を念頭にしており、部長級の職員とすることを想定している。役

【24年度補正予算】

歳入歳出それぞれ1億6483万円を追加するものです。

戸田公園駅西口駅前通り整備事業

質 疑

◎減額に至った理由は。

△電線共同溝本体の布設工事に伴い、現在、地上から民地内へ引き込まれている東京電力所有の電線類を地下経由に切り替えるための位置調整に時間を要したことから、今年度中に取り付け管路を布設することが難しくなったため減額する。平成25年度内の完成を目指している。

あけましておめでとう

ごちそうます

平成二十五年 正月

戸田市議会 議員一同